

# コギク新品種「常陸サニーバナラ」（7月咲き、白色）、 「常陸サマーラージュ」（8月咲き、赤紫色）、 「常陸サマーシルキー」（8月咲き、白色）の育成

生物工学研究所・園芸研究所

## 1 背景と目的

本県のコギクは、県内の切り花品目で農業産出額が第1位の重要な花の品目です。生産現場からは本県の気象条件に適応した品種育成の要望が高く、市場からは、頂点咲きの草姿のもの（図1）が求められています。

そこで、7月東京盆と8月旧盆の需要期出荷に対応できる県オリジナル品種（3品種）を育成しました（写真1～3）。



図1 頂点咲きとは、  
1～2の草姿のものです。

## 2 研究成果の概要

### ○「常陸サニーバナラ」の特長

- ・開花期は6月下旬から7月上旬で、東京盆出荷が可能です。
- ・花色は白色で、切花長が長く花蕾数も多い、優れた頂点咲きの品種です。

### ○「常陸サマーラージュ」の特長

- ・開花期は7月下旬から8月上旬で、旧盆出荷が可能です。
- ・花色は鮮やかな赤紫色で、切花長が長く、草姿は頂点咲きの品種です。
- ・電照栽培により開花調節ができます。また、節数の増加に伴い、切花長が長くなります。

### ○「常陸サマーシルキー」の特長

- ・開花期は7月下旬～8月上旬で、旧盆出荷が可能です。
- ・花色は白色で、摘心後の芽吹きも良好で、分枝数、花蕾数ともに多い頂点咲きの品種です。
- ・電照栽培により開花調節ができます。
- ・気象条件によって白さび病の発生が多くなる場合があります。

## 3 実用化に向けた対応

H26年度から本格的な親株販売が始まります。このため、主要産地のJA生産部会と連携しながら現地検討会を開催するとともに（写真4）、各産地に新品種の特長や栽培特性を紹介する試作展示圃を設置して、多くの生産者への周知を図っていきます。



写真1 「常陸サニーバナラ」



写真2 「常陸サマーラージュ」



写真3 「常陸サマーシルキー」



写真4 現地検討会の様子

### 生産現場の声

切花長が長く、花色が良く、ボリュームがあることが評価できます。

### 流通関係者の声

花数が多く、草姿が優れ、ボリュームがあることを高く評価しています。